

稚内南小学校だより「まこと」

誠

■発行日 令和6年10月31日
■発行者 稚内市立稚内南小学校
■Tel.0162-23-3329 FAX22-7924

■HP:
<https://wakkanai-minami-e.edumap.jp/>

■QRコード



第8号

児童への指導について

校長 三野宮 誠 一

今年も多くの保護者・地域の皆様から学芸会での発表に関わって児童がご指導をいただきました。深く感謝申し上げます。学校は往々にして閉鎖的な場所となりがちですが、学芸会の取組期間中は常に外部講師の皆様がいずれかの学年に入り、児童を指導したり激励したりといった場面がありました。教員以外の皆様からの激励は児童にとっては大きな自信となります。今後も可能な限り、そのような場を学校として設けていきたいと思っております。

さて、10月2日(水)に、南地区学校運営協議会第2回会議を開催しました。この中では企画した「夏季休業中の図書室開放事業」と「2学期実施の学習支援ボランティア事業」の実施状況を確認した上で、今後なすべきことについての意見を交流しました。また、1回目の会議で委員の皆様より質問があった不登校の現状について各校より報告した上で地域社会が関与できることがないか、考えを出し合いました。会議の詳細については南小ホームページの「学校運営協議会」のページに掲載しておりますので、ご確認ください。

この会議の終わりの「その他」のところ、ある委員より「地域の中で南小学校低・中学年児童による目に余る言動が度々見られる」「学校ではどうなのか」との指摘がありました。南小学校からは校内の現状をお伝えした上で、今後、関係機関と学校で対応の在り方等を共有していくこととなっております。

地域の皆様には「不適切な言動がある児童生徒には厳しく指導すればよいのではないかと考える方がいらっしゃると思います。厳しい指導を受け入れることができる子どもがいる一方、厳しい指導を重ねることで、子ども自身が抱える困難さによっては二次障がいに至るケースがあります。二次障がいとは、特別な支援を必要とする人が、適切な支援を受けられなかったり、誤った対応をされたりすることによって引き起こされる二次的な問題のことを指します。一般的には次の状態に至ることがあると言われています。

情緒的な不安定	周囲からの理解不足や不適切な対応により、情緒的に不安定になる
行動の問題	ストレスやフラストレーションから、攻撃的な行動や自己否定的な行動が現れる
学習の問題	適切な支援が受けられないことにより、学習意欲の低下や学業成績の悪化が生じる
社会的孤立	他者とのコミュニケーションに困難を感じ、友人関係の構築が難しくなる

現在は不登校の児童生徒数が増え続けていますが、児童の発達段階や特性に合わない指導により、学校に足が向かなくなる児童生徒が出てくることは十分考えられます。教員は児童生徒のことにに関して様々ことを想定しながら指導にあたっています。児童生徒によっては指導に軽重をつけたり、一定の線引きをしたりしながら指導するケースがありますことをご理解いただければと思います。

ただし、他者にケガを負わせるような暴力行為が続く場合については現在、学校としての対応の在り方を校内で協議しており、関係機関の助言を受けながらとりまとめることとしております。まとめましたら、保護者・地域の皆様からもご意見をいただくことを考えています。現在の学校教育では、児童の心身の成長につながる働きかけを継続することと並行して、学校での生活環境を児童にフィットしたものに整えることで、落ち着いて学校生活を送ることができることを目指しています。例えば、低学年を中心に学習に向かえない児童には「体験的な活動」や「遊び」を通して学ぶことができる環境をつくることに努めています。ただし、幼稚園や保育所のようなノウハウを小学校教員がもっているわけではないため、できることは限定されるのが実情です。また、児童生徒が通常の指導計画に沿った活動を行うことができない場合は、学級の種別にかかわらず、個別の指導計画を作成し、児童の成長につながる働きかけの在り方を模索することとなります。

本校では学級によっては担任1人につき33名の児童を受けもっています。本来であれば、個々の児童の活動状況を見取り、適切な支援・指導を児童に合わせて行うことが求められますが、十分ではない場合が多々あります。学校としては全ての児童が成長できるよりよい環境を整えることに努めてまいりますので、気になる点がありましたらいつでも学年にご相談くださいますようお願いいたします。

学芸会～今こそ見せろ！南小の本気「かんぜんわんしょう完全燃笑」～

10月27日（日）に、日常の教育活動の延長にある学芸的な発表の機会として学芸会を実施しました。

学芸会テーマ「今こそ見せろ！南小の本気 ～ 完全燃笑 ～」のもと、音楽の教材を発展させた内容、体育の器械運動や表現運動の領域を活用した発表等、どの学年も工夫し充実した演目内容となりました。また、発表終了後、6年生の保護者の皆様には後片付けにご協力いただきありがとうございました。

外は冬を思わせるくらいの寒さでしたが、体育館の中は子ども達の気迫と熱量が感じられる発表で、寒さを吹き飛ばしていました。学芸会の取組を通して仲間と一緒に活動することの達成感や協力し合う心の成長が感じられました。これからも子ども達に様々な体験を積み、心の成長を図ることができるように努めていきます。

楽しく・学びも深めた修学旅行

9月26日（木）～27日（金）、6年生は、旭川方面に修学旅行に行ってきました。1日目は、社会見学（事業所見学）を中心に学びました。旭川でしか体験できないことがたくさんあり充実した学習活動になりました。社会見学のあとは、ポーリングを仲間とともに楽しみ、ホテルで宿泊しました。2日目は旭山動物園の見学、イオン旭川での昼食やショッピング等、どの見学先でも充実した時間を過ごすことができました。6年生は各見学場所や宿泊施設でルールやマナーを守ろうと意識した行動が見られ、仲間と素敵な思い出を作ることができました。得た経験を日常生活の中で生かし、これからも「南小学校の顔」として活躍することを期待しています。

生活リズムアンケートから ～睡眠・運動・メディア～

「生活リズムアンケート」の結果について、保健日より「すくすく」が発行されています。「睡眠・運動・メディア」に関わって児童からアンケートを取り、集計・分析を指導部で行いました。

「睡眠」については、低学年を中心にしっかり時間が取れているようですが、22時以降に就寝する児童も高学年を中心に多くなっています。睡眠時間の短さは、翌日の活動に大きく影響します。十分な睡眠時間の確保にご協力をお願いします。

「運動」では、学校生活以外での運動量の少なさに注意が必要ですが、なかなかできない状況があります。学校で、「体育の時間」「休み時間」にしっかり運動することも大切です。学校でも運動の重要性について児童に伝え続けたいと思います。

「メディア」については、保護者の皆様と学校の連携が大切です。家庭でのルール作りと管理、学校での防犯指導で、正しい使い方、上手な使い方を子どもたちができるようにご協力をお願いします。

11月の行事予定

日	曜	行事予定
5日	火	活動委員会 視力検査(2年)
6日	水	視力検査(1年) 英検 ESG(6年)
7日	木	視力検査(きらり)
8日	金	短縮日課 避難訓練
9日	土	稚内市文化活動交流祭(6年)
11日	月	人権教室(1・2年)
12日	火	人権教室(4・6年)
14日	木	ニコタイ 人権教室(3・5年)
19日	火	活動委員会
20日	水	バイキング給食
21日	木	短縮日課
23日	土	勤労感謝の日
27日	水	短縮日課 新入学児知能検査・入学説明会
28日	木	全校集会 防災学校(5年)